

## 中小企業支援策に関する提案

### 1. 実態調査での把握

各委員の意見もさることながら、おそらく実際に経営している企業にも意見があると思われるので、支援メニューをいくつか提示したうえで、実態調査の調査票やヒヤリングによって直接意見を拾い、重視する度合いを調べるとよいと思う。

### 2. 講演会・講習会の実施

既存の事業と重複しない範囲で知識で対応できる問題について、いくつかの講演会・講習会を設定し、中小企業経営を支援する。

人事管理、情報セキュリティ、知的財産権管理、販路開拓、人材育成・定着、税務・会計といった中小企業経営上手薄な分野で、専門的知見を持つ技術者から知識を習得できる講演会・講習会を行う。

⇒各団体がバラバラに実施しているので、それらの情報収集と比較から始めた方がよいのかもしれない。

### 3. DFS の整備検討

松山市内では外国人が買い物しても免税制度を利用できず、結局東京や大阪に観光客が流れる状態が続いている。2014年10月から免税制度の緩和が行われ、各地で海外旅行客向けの免税店を整備することができるようになった。ただ、免税への参入はノウハウがないため、もし松山で免税店を整備しようとする、松山空港運営会社と共同で複数店舗が導入できるか試験的な検討が行えるとよいように思う。青果や食材は向いていないので、紙製品、今治タオルで実施できると、おそらく地域経済への波及効果が大きいとみられる。